

# 報 告 書

開催日時	令和3年11月6日(土) 19時00分 ~ 20時00分		
自治協議会名	友生地区住民自治協議会	開催場所	友生地区市民センター
出席議員	宮崎 栄樹、福岡 正康、百上 真奈、濱瀬 達雄		
	班長	宮崎 栄樹	記録・報告者 百上 真奈
参加人数	9名		
<b>【主な意見・提言等】</b> <行政バスについて> ・会長より「9月に廃止代替バスの令和2年度実績が交通政策課から送られてきたが、乗車人数の改善がなく、このままでは令和4年度で廃止になるおそれがあるとの評価だった。バスは住民の通学、通院、買い物にとって必要なものであり、過去には10年間にわたって自治協も財政負担をしてバス路線を残してきた経緯がある。友生地区でも、まもなく団塊の世代が、免許を返納することになる。下流域の市街地の賑わいは、上流地域の人たちが市街地へ行くことによって成り立つもの。街と村が共に繁栄するためにも、公共交通は大切である。」との主旨説明があった。 ○各区長からの意見 ・地域で公共交通について考えなければ、市は切り捨てるのか。 ・98歳の高齢者が免許を返納できずにいるということは、命が脅かされているということ。このような現状であることを行政が受け止め、地域が住みよいものになっているのか、地域と共有しながら考えてほしい。 ・スクールバスの活用、コリドールでの「にんまる」の運行、全市的な交通ネットワークの構築などの要望・提案があった。 ・行政には住民や地域に寄り添って考えてほしい。 ○議員からの意見 ・行政は、交通政策課だけでなく、教育委員会、福祉部局など横断的に検討していく必要があると考える。 ・予約制のデマンド交通、スクールバスの活用、乗り合いバス、行政による週3日の運行、乗りやすいバス停の提案など、困っている友生の住民のニーズに合った交通形態を行政にもっと提案していくよう、検討していただきたい。 ・行政も住民に寄り添い、共に検討することを議会としても求めていく。 <エンゼルの森事業について> ・森永製菓より関係する区への区費納入が、今まで何の問題もなく行われていたが、今年度は先方とやり取りをして、やっと区費を納めてもらった。 ・また、民家と隣接した土地の草が伸び放題になっているが、森永製菓からの対応はなく、市に草刈りをしてもらった。 ・管理するところがどこであれ、きちんとエンゼルの森は、今までどおりの管理をしてほしい。			

伊賀市議会議長 様

令和3年11月12日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 3 班

班長 宮崎 栄樹